

世界最速を記録

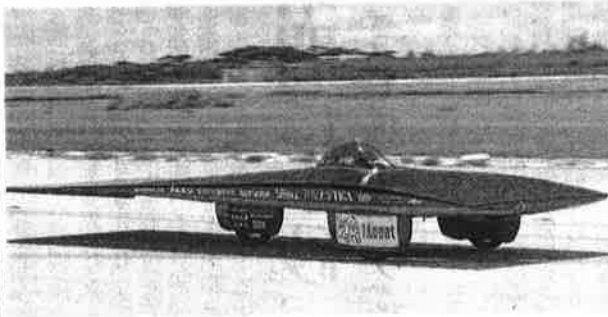
下地島空港

ソーラーカー 時速91キロ

篠塚さん、ギネス認定へ



最速記録を樹立し、ガッツポーズで喜ぶ関係者ら。運転席は篠塚さん=20日、下地島空港



軽快な走りで行った世界最速記録を樹立したソーラーカー

ソーラーカー世界最速記録に挑戦していたTeam SHINOZUKA(代表兼ドライバー・篠塚建次郎)が20日、下地島空港で時速91・3333キロの世界最速記録を樹立した。22日には同空港でギネス認定員の立ち会いの下、再び走行する。このスピードが時速91・3333キロを上回れば、その段階でギネス記録に認定される。下回った場合でも、20日の記録でギネスに申請し、認定される見通し。

篠塚さんは「とにかく達成できて良かった。風が強くて心配だったが、午前中の試走で手応えがあったので、厚からの本番に自信が付いた。記録樹立は、皆さんの協力のおかげ」と、安堵(あんどう)とした表情で話した。

激励に訪れていた下地郡彦市長は「おめでとう。エニアランド宮古島で、太陽光で最速記録を築き替えて、この記録を下地島空港で樹立してくれた。この偉業を空運のPR、活性化にもつなげたい」と、今後の空運活用を期待を寄せた。

午前11時すぎ、本番前に約30分間、下地島空港滑走路と誘導路約6キロで試走。計測のために定められた500メートルを往復し、スピードを計測した。

本番の走行は応援や激励に来ていた、宮古工業高校の生徒や、市職員らが見守る中、午後0時20分ごろからスタート。約1時間、コースを周遊しながら加速をつけ、直線500メートルの計測区間を追い風、向かい風で4往復し、それぞれの最速を平均した。

篠塚さんは太陽光発電は家庭用のイメージが一般的だが、車も走れることをPRしたい。将来太陽光だけで走れる車ができれば夢のような、日本から世界中に究極のエコカーを発信できたい。

県保はこの本脳炎民に對意を呼宮古島シで感ど注慶県内8月以れてい日の探の血中絶えた

日インバウンドインベシエ景展

以降、毎年数人にまで減少

要境つ

宮古毎日新聞

発行所
宮古毎日新聞社
沖縄県宮古島市平良字西里403
郵便番号906-0012
郵便振替口座17040-8593551
私書箱・宮古中便第19号
©宮古毎日新聞社2014
代表 0980-72-2343
FAX 0980-72-3733
那覇支社 098-861-9091
FAX 098-861-9092
東京支社 03-5565-3008
FAX 03-5565-3009
ホームページ <http://www.miyakomainichi.com>

琉球泡盛



あくぬまだうらいん!!

全国ネットの不動産売買

売地・売家探しています

無料価格査定、買取も致します

(株)コクワシティ 0980-72-6505

お天気

引き続き高気圧に覆われて晴れるが、波

気温 風速 海上



ればと熱い思いを語った。この日の下地島空港の正午、午後1時までの風向、風速は南の風9.5~9.3。気温は30.5度だった。

夫する用V蝶虫よひの使用接種③と蚊の要境つ